政治はかえることができる

あなたの声を
聞かせてください

県立高校のエアコンが公費負担に。

子どもの医療費無料制度、18才まで無料に。

保護者負担だった県立高校のエアコン関連費用が、県の負担となりました。子ども医療費無料制度の県の補助が前進したため、子ども医療費が10月から18歳まで無料になります。日本共産党がみなさまとともに主張してきたことが、2024年度埼玉県当初予算で次々実現しました。声をあげれば、実現します。あなたの声をもっときかせてください。

日本共産党
埼玉県議会議員
城下のり子NEWSレター

2024年【号外】
発行●日本共産党埼玉県議団〒330-9301さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内
TEL●048-824-3413　FAX●048-825-1048　http://jcp-saitama-pref.jp/

あなたの声をきかせて アンケート

ファクス048（825）1048までお送りください

↑
アンケートフォーム
はこちらから

1 年齢（10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上）

2 性別（よろしければ）　男・女

3 生活実感について

昨年よりくらしは　①よくなっている　②かわらない　③悪くなっている

4 日本共産党にとりあげてほしいテーマ

①子育てを支援する
②教育を充実する
③高齢者福祉を充実する
④災害に備える
⑤地域公共交通機関を充実する
⑥道路や橋梁の整備
⑦企業や事業者を応援する
⑧環境を守る
⑨農業振興
⑩そのほか（　　）

5 4の回答について具体的に

6 よろしければ、ご連絡先をどうぞ

お名前　　☎　　（　　）

メールアドレス　　@

政治はかえることができる

あなたの声を
聞かせてください

県立高校のエアコンが公費負担に。

子どもの医療費無料制度、18才まで無料に。

保護者負担だった県立高校のエアコン関連費用が、県の負担となりました。子ども医療費無料制度の県の補助が前進したため、子ども医療費が10月に18歳まで無料になります。日本共産党がみなさまとともに主張してきたことが、2024年度埼玉県当初予算で次々実現しました。声をあげれば、実現します。あなたの声をもっときかせてください。

日本共産党
埼玉県議会議員
山﨑すなおNEWSレター

2024年【号外】
発行●日本共産党埼玉県議団〒330-9301さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内
TEL●048-824-3413　FAX●048-825-1048　http://jcp-saitama-pref.jp/

あなたの声をきかせて アンケート

ファクス048（825）1048までお送りください

↑
アンケートフォーム
はこちらから

1 年齢（10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上）

2 性別（よろしければ）　男・女

3 生活実感について

昨年よりくらしは　①よくなっている　②かわらない　③悪くなっている

4 日本共産党にとりあげてほしいテーマ

①子育てを支援する
②教育を充実する
③高齢者福祉を充実する
④災害に備える
⑤地域公共交通機関を充実する
⑥道路や橋梁の整備
⑦企業や事業者を応援する
⑧環境を守る
⑨農業振興
⑩そのほか（　　）

5 4の回答について具体的に

6 よろしければ、ご連絡先をどうぞ

お名前　　☎　　（　　）

メールアドレス　　@

「子どもの国保税引き下げを、県としても国に働きかける」

埼玉県健康政策局長

国民健康保険税が高すぎます。ふじみ野市では今年度から国保税が大幅に値上がりします。特に、家族が増えるとその分保険税が増える「均等割り」の仕組みは、サラリーマンの健康保険に比べてもひどすぎます。（ふじみ野は年間１人あたり５７００円の引き上げ）５月８日、埼玉県社会保障推進協議会の皆さんとともに、埼玉県に対して①国保税の引き下げ②「子どもの均等割り」減免を③医療提供体制の強化を④健康保険証の廃止を中止するよう、の４点を申し入れしました。

「女性の年金が低すぎる・・・・」

新日本婦人の会の高田さんは、「女性の年金はそもそも低いのに、そのうえ国保税や介護保険料が高すぎる。国保税は高齢者が入る保険制度になってしまっているので、なるべく低く抑えてほしい。それに、生まれたての子どもからも均等に保険税をとるのはおかしい」と発言しました。

対応した横田淳一健康政策局長は「国保税の被保険者の負担が苦しいのは把握している。国に対しては負担軽減の拡充を要望している」「令和４年度から国の制度として未就学児の均等割りを半額とする制度になっているが、対象年齢や軽減割合の拡大を国に求めていく」と答えました。

県議団幹事長に就任しました。

団長　城下のり子（所沢）
幹事長　伊藤はつみ（ふじみ野・三芳）
　　山﨑すなお（川口）

女性３人の新体制で頑張ります！

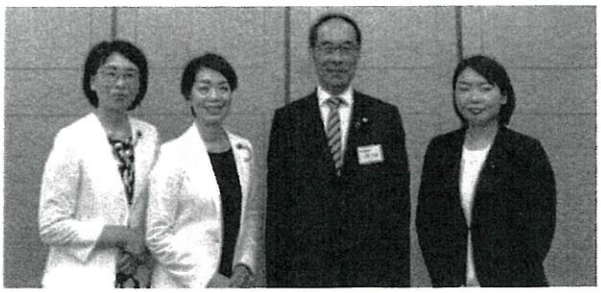
左から　伊藤・城下（所沢）・山﨑（川口）

伊藤はつみ
県政のとびら　NO.1

発行　日本共産党　伊藤はつみ県政事務所　　2023年６月４日
〒356-0050　ふじみ野市ふじみ野３－１０－３９
電話・FAX　０４９－２６９－１８１１

★ 埼玉県議会初顔合わせ会

県庁本庁舎の北側にある知事公邸で知事や県職員、議員と交流。９３人の県議の内、女性議員は１５人。その内の３人が私たち日本共産党県議団です。



知事を囲んで記念撮影しました。

★５月臨時会　５月２３～２４日

①議長や所属委員会が決定しました。

伊藤はつみ県議は**議会運営委員**として、民主的な議会運営を提案していきます。この委員会では唯一の女性議員です。

②物価高騰対策の補正予算を審議しました。

プロパンガス利用者の世帯に、８月か９月頃に**１世帯２５００円の定額補助**が行われます。（申請の必要はありません）

支援の継続を引き続き求めていきます。

常任委員会

警察危機管理防災	伊藤はつみ
福祉保健医療	城下のり子
文教	山﨑すなお

特別委員会

自然再生循環社会対策	伊藤
危機管理大規模災害	城下
地方創生・行財政	山﨑

「通学路の安全を」　蓮田市議団と県警に申し入れ　！

県内すべての交通安全対策の要請に同行しています。

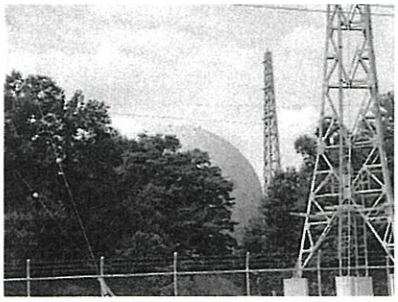
「大型車両が増えて、子どもたちの登下校が心配」と、昨年の１１月に地域の皆さんと申し入れをしていました。しかし、改善が見られず、再度、申し入れを伊藤県議と一緒に行いました。

歩車分離信号に変えることはできませんが、歩行者用と車両用の信号の青の長さを調整することで改善されるか試験的に調整を行っていることが確認できました。

また、翌日には、警察署員による横断時の見守りの回数を増やしていくように、所管の岩槻警察署に要請したとの報告もありました。

求め続けることが大切です。

大井通信所周辺は安全なの？住民に説明して欲しい　！



防衛省の情報本部「大井通信所」について、５月２９日、塩川てつや衆院議員とふじみ野・三芳議員団で、防衛省要請を行いました。

大井通信所は武力攻撃等に備える基地強靭化の対象施設のリストに載りました。どんな機能を持つ施設なのか、安全なのか、住民には何も知らされていません。

イラク戦争時、米軍が通信施設を標的対象にしたことを契機に、国から基地交付金（毎年約１０００万円）が交付されるようになりました。「そんな危険な施設はいらない」これが、住民の声です。

今回の要請で、防衛省は３年前に大井通信所の支所として入間基地内に入間通信支所を設置したことを認めました。機能強化されていることは明らかです。

住民の安全は守られるのか、住民に説明して欲しいと求めてきました。

6月県議会の日程 6/19

(月)～7/7(金)

伊藤はつみ県議の一般質問

傍聴にお出かけください！

6月27日(火) 午後1時～

伊藤はつみ　県政のとびら　NO.2

発行　日本共産党　伊藤はつみ県政事務所　　2023年6月17日

〒356-0050　ふじみ野市ふじみ野３－１０－３９

電話・FAX　０４９－２６９－１８１１

台風2号 豪雨災害
調査中にも多くの要望
越谷・草加を調査

台風２号のよる被災地調査を、６月４日に塩川てつや衆院議員、梅村さえこ比例予定候補、県議団で行いました。越谷市の大工さんからは、「フォークリフトが水没したのは今回で２度目。前回は３００万円かけて修理をした。事業者への支援もして欲しい」と切実な声。

草加市では、「防災無線も聞こえなかった。気づいた時には外にも出られなかった。ゴミも早く回収して」と多くの要望。　今回は河川からの越水ではなく内水被害でした。雨水浸透施設や調整池の整備、河川改修と求めるものはたくさんあります。

ここまで水が！（草加市）

床上浸水にも支援制度を創設して

６月９日山本副知事に申し入れを行い、県と市町村の被災者支援制度に床上浸水への給付創設、事業者への支援制度創設や排水機場の整備など申し入れました。

埼玉土建本部で懇談
このままでは　家を建てられる職人さんがいなくなる

「１０代の大工さんは県内に１００人しかいません」この話はあまりにも衝撃でした。

大手建設会社の賃金は上がっていますが、下請けには回ってこない。１日いくらで働いているので週休２日にしたら、手取りが減ってしまいます。

しっかり保障されないと技術が継承できません。

国保税が高すぎる！払える国保税へ。

県の国民健康保険運営方針を学びました。

国保税が高すぎます。ふじみ野市では所得300万円の4人世帯で年47万円。これを今年度から50万円にひき上げました。

6月13日、党県議団主催で市町村議員対象の国保学習会を開きました。県国保医療課長から現在策定中の「県国保運営方針」の説明を受け、質疑のあと、市町村・団体の取り組みを交流しました。

法定外繰り入れ解消は国保税引き上げにつながる

運営方針は、令和9年までの県内の保険税水準の準統一のために、令和8年度までの、市町村の一般会計から国保会計への法定外繰り入れをすべてなくすといいます。これは、さらなる保険税の引き上げをまねきます。学習会では「準統一を急ぐな」「減免制度の拡充を」という声が相次ぎました。

6月定例会が始まりました。

6月19日から定例会が開会し、私は議会運営委員会に参加しています。また、警察危機管理委員会も23日には行われ、議案審議に参加しました。

一般質問も27日には行われるため、準備に全力です。

伊藤はつみ

県政のとびら NO.3

発行　日本共産党　伊藤はつみ県政事務所　　2023年6月17日

〒356-0050　ふじみ野市ふじみ野３－１０－３９

電話・FAX　０４９－２６９－１８１１

議会改革のための協議会設置を議長に申し入れ
～委員会のインターネット公開を

6月12日、党県議団は立石泰広埼玉県議会議長に「県議会の民主的運営及び議会経費の適正化等に関する申し入れ」を行いました。私は「議会改革のためにぜひ、協議の場をしてほしい」「委員会のネット中継も実現してほしい」「少数会派の議運オブザーバー出席をみとめてほしい」など、要望の中身を解説しました。
立石議長は、「どんな改革が必要か、各会派から意見をききたい。」と語りました。

歩行者のリスクが高まり、トラブルが増える
キックボードについての規制緩和に反対討論

電動キックボードは現行法では原付と同じルールが適用されていますが、道路交通法の改正により7月から、自転車と同じ免許扶養、ヘルメット着用努力義務となります。これに伴い、県条例改正案が県議会に提出、6月23日警察危機管理委員会で審議が行われました。
私は、質疑の上次のような討論を行い反対しました。「電動キックボードの普及とともに事故が急増しています。2020年には10県だった事故が2021年には110件。21年9月から2022年11月の交通違反の摘発数は1600件を超えています。無秩序な違法駐車によるトラブルも問題になっています。条例改正により、歩行者との接触リスクが高まりトラブル増加を助長させることから反対といたします」（共産党のみ賛成で可決）

県営プールでの過激な水着撮影会中止を求めて

党県議団は、6月8日県営シラコバト水上公園で行われる水着撮影会について、過去開催動画が過激なものであること、未成年の出演があることから、貸し出し中止を申し入れました。
その後、過去の開催で県の貸し出し基準違反があったことから、同撮影会は中止となりました。

6月議会　伊藤はつみ県議　初の一般質問

「学校給食の無償化」 県は支援を拒否

県内では滑川町や東秩父村など町村部で学校給食の無償化が実現。今年度より坂戸市でも実現しました。また、戸田市、蕨市、加須市のように期限を区切って無償にする自治体も増えています。

私は、「市町村での広がりをどう考えるか」「市町村格差をなくすために県として財政支援制度を作るべきだ」と質問しました。

教育長は「令和4年度には、県内14市町が学校給食費の無償化を実施し、（その後制度終了）」「令和5年度には、子育て支援の一環として、学校給食費の無償化を新たに実施する市町がある」と報告。しかし、「小中学校等の義務教育諸学校における学校給食の実施を担う市町村は、自主的に判断するべきものと考える」とあくまで県としての支援は拒否しました。

一問一答方式で質問。
本会議場での傍聴、テレビでの傍聴ありがとうございました。

高齢化進む中、公共交通は課題
鉄道駅のない町に補助を

三芳町は鉄道駅がなく、コミュニティバスもデマンドタクシーもありません。駅のない町への重点的な財政支援を求めました。三芳町では、2年間かけて計画作成、調査、実証実験が行われる予定です。ここには県の補助金を活用できますが、駅なし町への補助は、退けました。

控え室にようこそ！　色々な方と懇談

伊藤はつみ
県政のとびら　NO.4

発行　日本共産党　伊藤はつみ県政事務所　　2023年7月16日

〒356-0050　ふじみ野市ふじみ野３－１０－３９
電話・FAX　０４９－２６９－１８１１

核兵器廃絶への思い熱く
原爆展・国民平和大行進

原爆と人間展　県庁3階渡り廊下（～8月４日まで）
埼玉県原爆被害者協議会（しらさぎ会）の皆さんと県議団

身近な場所でも戦争する国づくりが進められています。軍事費倍増ストップ！　軍事費削って教育に福祉に回せ！　久しぶりの行進で市民にアピールできました。（写真右）

ご存じですか？大井通信所の機能強化

大井通信所の機能強化について質問し、基地交付金の増額や航空自衛隊入間基地内への支所設置など、大井通信所の機能強化は明らかだと指摘。県民の安全を守れると考えるかと尋ねました。県は「これまで防衛省からの説明はなく、県に情報はない。基地対策協議会から対応を求めていく」と述べました。

中学３年生のみなさん・・貸し出しもあります

高校入学時のタブレット　　平均購入金額（県立高校）は約７２０００円！！

全国24道府県で全額公費負担としているタブレット。私は埼玉県でも公費で整備すべきだと質問。同時に、せめて補助制度を作るべきだと詰め寄りました。教育長は「GIGAスクール構想は、国が全国的に進めているもので、国による財源措置がなされるべき」と答弁。補助については「経済的理由によりタブレット等の購入が困難な場合に備え、貸出用のタブレットを公費で整備している」と答えました。私は、その貸し出しタブレットのことを、保護者も生徒も知らないと厳しく指摘。教育長は昨年はホームページで周知していたが、今後は中学校の面談などでもリーフを活用すると答弁しました。

安全な地元野菜の活用と学校給食の無償化を

埼玉連絡会が署名提出 4万4366筆 ！

「給食無償化を市町村任せにしないで」「子どもには安全な食べ物を食べさせたい」「有機農業の拡大にも繋がる」「施設整備も大きな課題。本当は自校方式を望む」たくさんの思いとともに全県から集まった署名を7月 18 日に砂川副知事に提出。県議団3人も同席しました。

副知事は「学校給食法で食材費は保護者負担としている」と議会での答弁と変わりませんでしたが、食材については地元産使用を積極的に呼びかけると明言しました。

新座市から参加したお母さんの「物価高でついつい安いものを選びがち」の言葉が心に響いています。

伊藤はつみ

県政のとびら NO.5

発行　日本共産党　伊藤はつみ県政事務所　　2023 年 7 月 30 日

〒356-0050　ふじみ野市ふじみ野３－１０－３９

電話・FAX　０４９－２６９－１８１１

「消費税のインボイス制度を中止して」

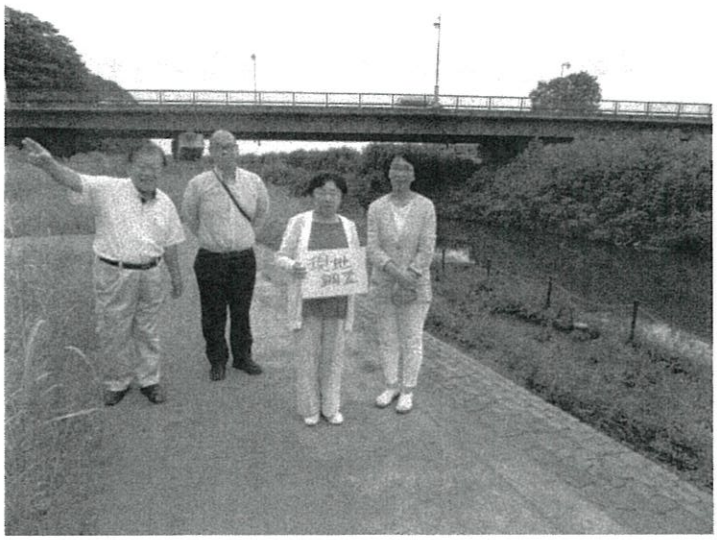
「インボイス実施延期を求める意見書を自民党として提案するから、請願は取り下げて欲しい」と、消費税の廃止を求める埼玉連絡会と約束していた自民党県議団。

しかし、6月議会で自民から提案されたのは、「インボイス円滑な導入に向けた事業者支援を求める意見書」でした。日本共産党県議団と改革の会議員のみが自民党案に反対。

入間東部民商総会で、この報告を行いました。みなさん、怒りでいっぱいでした。

県道・河川の危険カ所など現地調査中

三芳インターに大型車両が通るようになったら、危険！　その前に整備を。



新河岸川の川崎橋付近。
今年も大きな被害が発生しませんように。

全ての看護職員の処遇改善を

昨年10月から、コロナ対応で役割を担う病院に勤務する看護師に処遇改善支援がスタートしました。しかし、訪問看護や搬送件数が少ない病院などは対象外で、対象はわずか35%にすぎません。

県からも国に申し入れて欲しいと、7月11日、現場の看護師さんとともに、表保健医療部長と懇談。「県も県立病院の処遇改善に苦慮している。要望していく」と答えました。

原爆死没者を追悼

「政府が核兵器禁止条約に署名するまで私たちは生きる」

塩川鉄也衆院議員、伊藤岳参院議員と埼玉県原爆死没者慰霊式で献花させて頂きました。核抑止論を一層重視する内容の広島ビジョンに落胆したとの被爆者の言葉を重く受けとめています。

核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名は109万筆に及び、国連加盟国の半数の92ヵ国が核兵器禁止条約へ署名。参加を求める地方議会の意見書採択は約4割の660議会に。

「日本政府が署名するまで私たちは生きる」と被爆者代表の誓い。戦後生まれの私達が歴史の実相を語り継ぎ、核兵器も戦争もない世界の実現に活動を続けなければなりません。

一歩ずつ改善しています

県道さいたま・ふじみ野所沢線の三角交差点近くの側溝フタの交換が少しずつ進んでいます。毎年、前原かづえ前県議と川越県土整備事務所に要望してきた成果です。

しかし、まだまだ安全に歩行できる県道ではありません。引き続き、ふじみ野市と三芳町の現地調査を重ね要望していきます。

伊藤はつみ
県政のとびら NO.6

発行　日本共産党　伊藤はつみ県政事務所　　2023年8月13日

〒356-0050　ふじみ野市ふじみ野３－１０－３９
電話・FAX　０４９－２６９－１８１１

県の予算
学習・懇談中

福祉・医療・教育・自治体職場などの団体の皆さんと7月末に2023年度予算を学習し、懇談しました。 まず、デジタル化を進めている埼玉県。便利になる点もありますが、オンラインを使えない人への対応が必要です。そして、県立高校生のタブレット購入を個人負担させています。

大雨による災害対応では、被害件数が10件未満でも対象となる「埼玉県市町村安心支援制度」ができたものの、床上浸水は対象外のまま。超高齢化社会に向けて埼玉版スーパー・シティプロジェクトと称したコンパクトな街づくりを行うとして公共施設の統廃合などが進められようとしています。 学習会では、教育、福祉、医療への予算増額を優先して欲しいという声がだされました。

岩槻　医療型障害児入所施設
『カリヨンの杜』を視察

小児医療センターが新都心に移転された時、身近な場所に重症心身障害児医療施設を残すとして整備され6年目。

蓮田・春日部市議の皆さんと視察してきました。

大井プール事故から17年

プール事故は依然として無くなりません。人的配置基準の改善、特に施設を熟知した専門職の配置が安全対策で最も重要なことです。

7月31日には、ふじみ野市では公共施設の安全点検が実施されています。

被爆体験を世界中に発信し続ける
服部道子さん（被爆被害者協議会会員）
美保野学園　平和講演会にて

藤久保公民館ロビーで「原爆と人間展」 三芳9条の会主催

78年目の夏　戦争語り継ぐために
平和事業がいっぱい

「映像だけでは伝わらない臭い、恐怖を私の声で感じて欲しい」と語る広島原爆被災者の服部さん（94歳）。原爆の熱線は鉄の溶ける1500度をはるかに超える3千～4千度。看護師でありながら、水もなくて傷口を洗ってあげることすらできない。当時は広島のことは話してはいけない、真実を隠すように命じられていたと話されました。

会場には小学生も数人いて、「ちょっと衝撃が強くて、今は言葉にならないようです」とお母さんが話してくれました。私も「はだしのゲン」を読んだ時の恐さを思い出しました。でも、とっても大切な経験です。今、図書館で借りて、読み直しています。

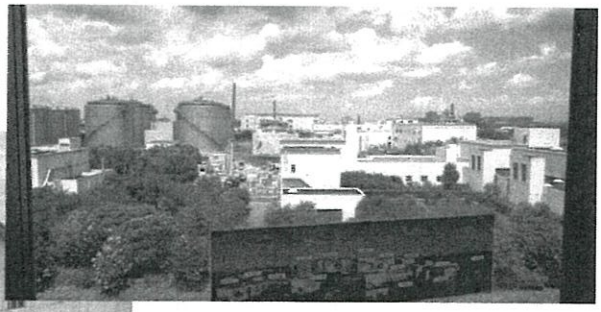
臨時教職員制度の改善をすすめる会と懇談

９日、市町村議員も参加して教育現場における非正規雇用の現状を聞きました。「教員採用試験と授業の準備の並行で休む暇もない。来年の雇用が継続できるか不安。職種が突然変わり、給与が下げられることもある」と。誰もが働きがいのある職場をつくらなければなりません。

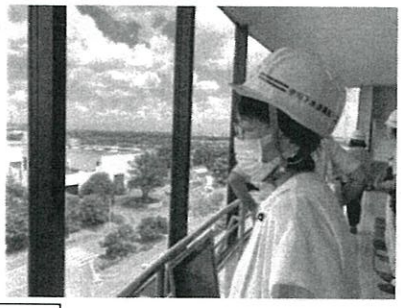
伊藤はつみ
県政のとびら　NO.7

発行　日本共産党　伊藤はつみ県政事務所　　2023年8月27日
〒356-0050　ふじみ野市ふじみ野３－１０－３９
電話・FAX　０４９－２６９－１８１１

汚水と雨水はどう処理されるのか
下水道処理施設を視察



中川水循環センター（三郷市）



外形4．8メートルの下水道管の前　（東部南地域の議員のみなさんと）

6月2～3日の台風2号は、県内各地に被害をもたらしました。特に越谷市と草加市では床上浸水が700世帯以上。草加市では市内各所で下水道の逆流が起こり、マンホールから汚水が吹き上げました。 なぜ、逆流したのか。

この地域の下水処理を行っている県営・中川水循環センター（三郷市）を8月10日に視察しました。ここでは、雨水と汚水は別々に処理しています。施設の担当者は、「各自治体が管理する下水道管の継ぎ目などから雨水が入った可能性があり、汚水の処理能力を超えたことから汚水が逆流した。各自治体による対策が必要だ」と説明しました。

1つの自治体だけでなく広域な対策が必要です。しかし、大きな財政負担がともないます。県は何が支援できるか各自治体と情報共有したいとしています。

前原かづえ前県議 8年間の費用弁償を 基金に寄付！

費用弁償というのは議会や委員会に出席した時、1日あたり5000円交通費として県議に支給されるお金のことです。（居住地によって金額は違う）

日本共産党県議団は費用弁償から実費交通費分をのぞき、県議をやめた際に各県議が公的なところに寄付しています。

前原かづえ前県議は、埼玉文化振興基金に148万6105円、県特定非営利活動促進基金（NPO基金）に148万6104円を寄付しました。

原発汚染水の海洋放出に怒りを込めて

「岸田首相と東京電力に抗議し、放流の即時中止を求める」

第29回　原発いらない集会
富士見＆三芳　（9/2鶴瀬駅）

暑い暑い午後2時、黙ってはいられないと40人の方が集まり集会・パレードが行われました。私は、汚染水の放出が始まった8月24日に日本共産党埼玉県地方議員会議の名で岸田首相と東電に対して抗議文を送ったことを報告しました。

政府と東京電力は8年前に「漁業者など関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」との約束を福島県漁業組合と交わしています。メルトダウンを起こした原発のデブリに接触した水で、アルプス処理をしても、セシウム、ストロンチウムなどトリチウム以外の放射性物質も残っています。汚染水は流しても流しても新たに毎日90トンも生まれます。これで同意が得られるわけがありません。今やるべきことは広域の遮水壁を設置して、根本的な地下水流入対策を行うこと、そして原発をとめることです！

伊藤はつみ

県政のとびら　NO.8

発行　日本共産党　伊藤はつみ県政事務所　　2023年9月10日

〒356-0050　ふじみ野市ふじみ野３－１０－３９

電話・FAX　０４９－２６９－１８１１

竹の器でいただきま～す

４ 年ぶりのふじみ野・坂下後援会のそうめん流しに足立しづ子市議と参加。大雨被害に何度もあった地域なので、これから秋が心配です。県政の報告を行いながら、交流しました。

県議防災服で参加してきました。
９都県市合同防災訓練（志木会場）

震度7の地震体験、段ボールトイレに座るなど、勉強になりました。消防車両も多様化して、災害時の支援車（左の写真）には、消防職員のための簡単なキッチンや休憩室が整備されています。

ドローンを活用して現場の状況を確認したり、救命ボートで出動し、潜水したりと技術の取得も必要です。命がけの仕事に感謝です。

私たちも普段から訓練と準備をしておかないといけないと感じました。

川越県土整備事務所と懇談　三芳町とふじみ野市議員団

歩道のバリアフリー化や歩道の未設置箇所の整備はどの地域でも課題でなかなか進みません。しかし、「側溝のふたやタイルの剥がれた部分の改修は具体的な場所を示せば応じる」との回答です。

8月23日　三芳町議団と

8月25日　ふじみ野市議団と

川越街道の中央分離帯の植栽は5年に1回、樹木医による診断が実施されているそうです。枯れ葉などによる排水管のつまりもあり、道路冠水を防止するための管理強化を求めてきました。